

令和元年 7 月 26 日
国土交通省 熊本河川国道事務所
熊本県土木部道路都市局

点検支援技術活用講習会の開催について

熊本県道路メンテナンス会議主催による、地方自治体支援の一環として県内の地方公共団体職員等を対象に点検支援技術活用講習会を開催しますのでお知らせします。

この講習会は、点検支援技術の活用により、点検方法の効率化が図られることから地方公共団体の点検支援技術に対する理解を深め、定期点検業務の中での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、自らの定期点検に反映してもらうことを目的として開催するものです。

「熊本県道路メンテナンス会議」は、道路施設の維持管理・補修を効率的・効果的に行うため、各道路管理者が相互に連絡・調整を行い、道路施設の点検計画等を共有することにより、道路施設の予防保全・老朽化対策を円滑に行うことを目的とした会議です。

記

◇ 講習会の概要

- <日 時> 令和元年8月1日(木) 13時30分～(2時間半程度)
- <場 所> 座 学 : 熊本河川国道事務所
山鹿維持出張所 会議室(山鹿市南島949-1)
- 現地実演 : 国道3号 やまがおおはし 山鹿大橋 (別紙地図参照)
- <参加者> 地方公共団体職員(保全業務担当者)ならびに
点検従事者(コンサル等) 15名程度
- <内 容> 地方公共団体が定期点検業務の中で点検支援技術を円滑に活用できる
よう、技術活用の流れや留意点等について説明

◇ 報道関係者の皆様へ

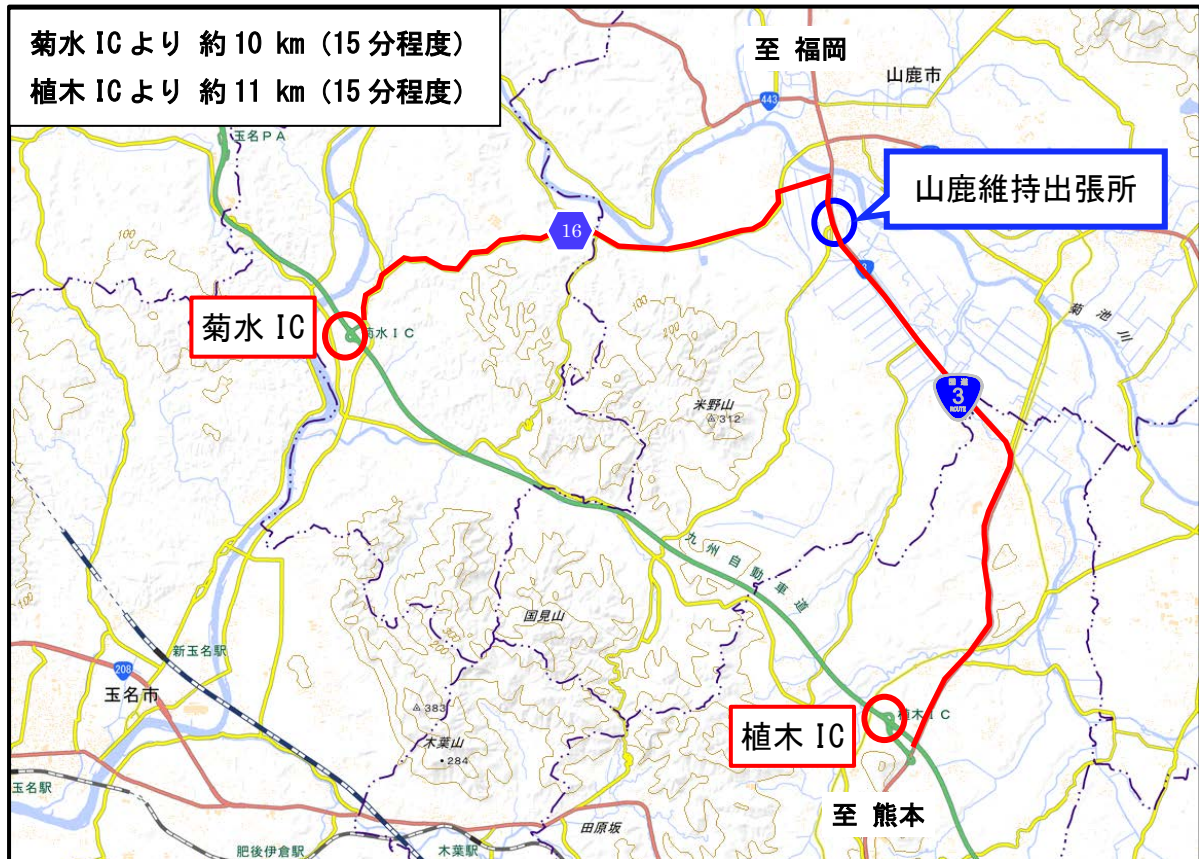
- ・取材される場合は、ヘルメットを貸与しますので前日の15時までに以下の問い合わせ先へご連絡ください。
- ・悪天候の場合は延期または中止する場合があります。その際は事前にご連絡します。

《問い合わせ先》

■ 国土交通省 熊本河川国道事務所	TEL 096-382-1111 (代表)
総括保全対策官	さかもと やすひで 坂元 靖秀 (内線: 308) 【総括】
道路管理第二課長	すわ ぞのかずひこ 諏訪 蘭和彦 (内線: 441) 【内容等】
■ 熊本県 土木部 道路都市局	TEL 096-383-1111 (代表)
道路保全課長	よしがしままさずみ 吉ヶ嶋 雅純 (内線: 6100)
道路保全課主幹	えぐち たかひろ 江口 貴弘 (内線: 6102)

(別紙地図1)

点検支援技術活用講習会 座学会場位置図【山鹿維持出張所】



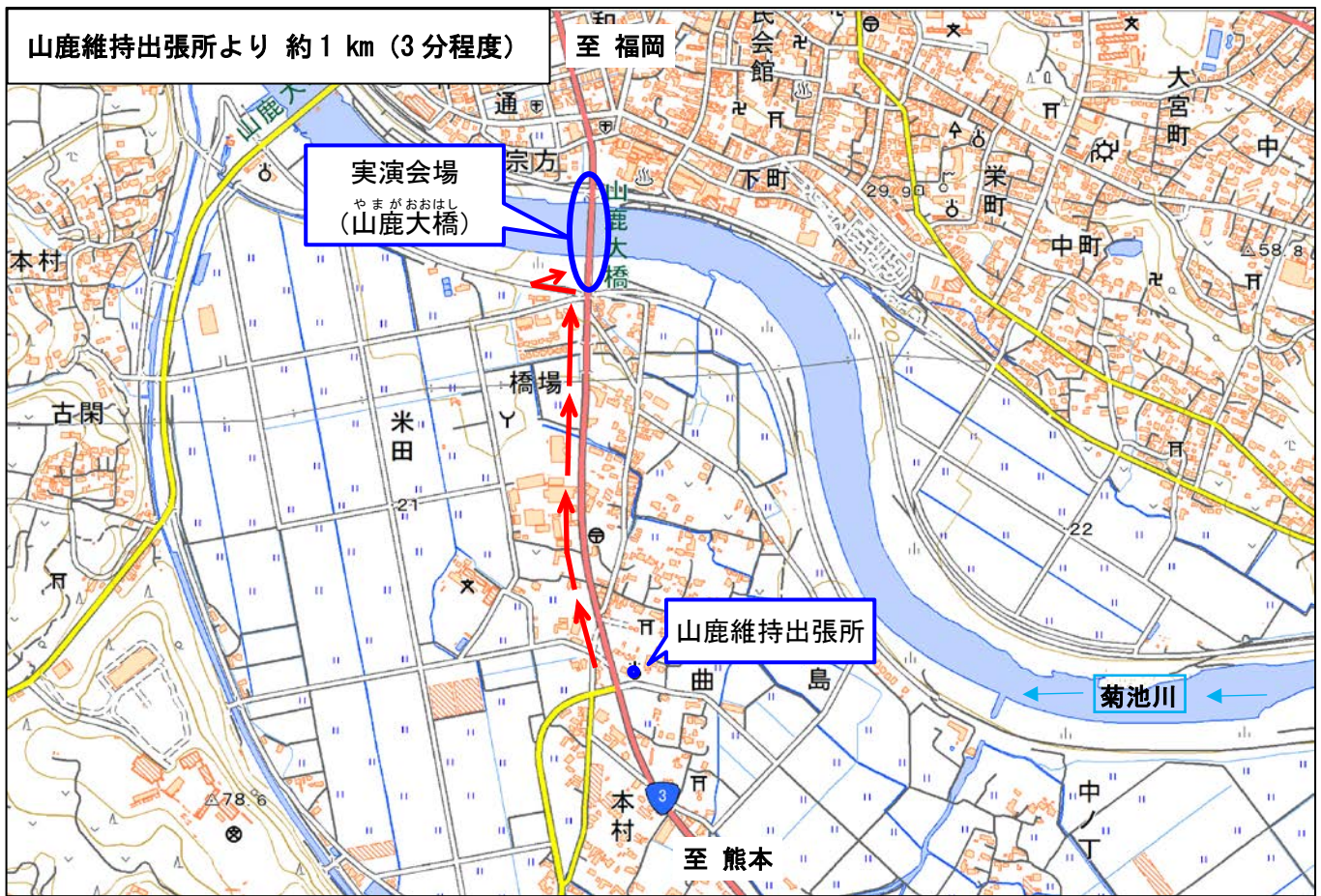
山鹿維持出張所位置図 (詳細)



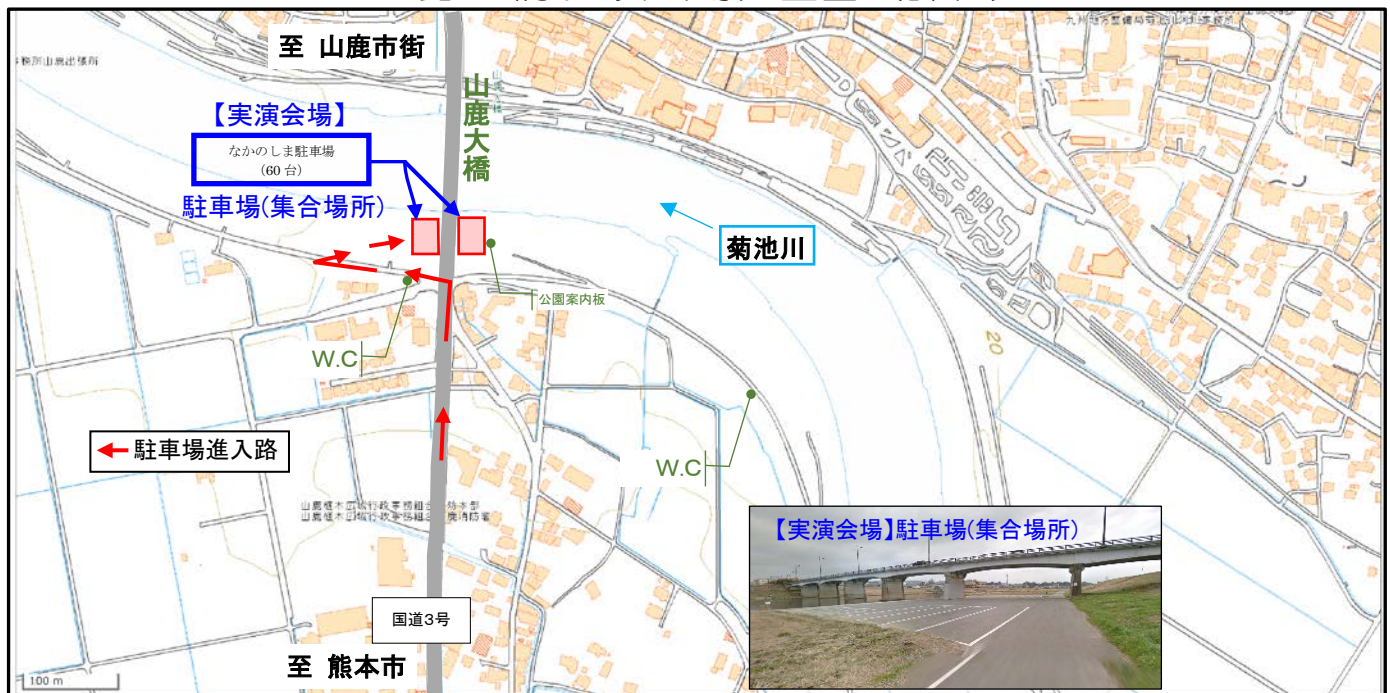
※熊本市方面から来られる場合、南島交差点を右折し、裏口から進入します。
※実演会場へは、山鹿維持出張所より各自の車両で移動いただきます。

やまがおおはし

点検支援技術活用講習会 現地実演会場位置図【山鹿 大橋】



山鹿大橋 実演会場位置図（詳細）



※実演会場へは、山鹿維持出張所より各自の車両で移動いただきます。

点検支援技術活用講習会 現地実演新技術の概要について

マルチコプタを利用した橋梁点検システム(マルコ TM)

ロボット技術を活用した点検のコスト縮減・省力化を課題に捉え、橋の周囲を飛行しながら点検画像を撮影する空飛ぶデジタルカメラとして開発したものです。

※本開発は、NEDO「インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト」として行ったものです。



写真-1. マルチコプタ

表-1. 主要諸元

種別	無線操縦型クワッドコプタ	
カメラ	縦6000Pixel × 横3376Pixel	
サイズ	飛行時: 900mm × 900mm × 460mm 運搬時: 500mm × 500mm × 400mm	
全備重量	10kg	
飛行時間	7分(外気温11℃の場合)	
回転翼機構	ガバナー付き可変ピッチ	
機体安定機能	安定ホバリング制御	6軸ジャイロ カメラ+超音波センサ(オプティカルフロー)
	被写体との距離一定制御	超音波センサ
	上昇・下降一定制御	気圧センサ
	カメラスタビライザ	3 軸ジャイロ、レーザー距離計
画像撮影支援機能	照明	LED
	第三者安全確保機能	2 本のロープなどを付いた係留装置

コンクリート構造物変形部検知システム(BLUE DOCTOR)

移動式衝撃弾性波調査法によってコンクリート構造物の「うき・剥離」など欠損部(空隙)の有無および深さをリアルタイムに検知するシステムです。

検査者の技量や経験によらず定量的にかつ、広範囲(一日あたり400m²以上)の検査を行うことが可能です。

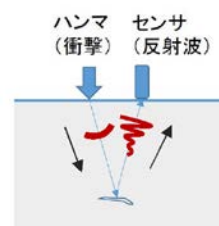


図-1. システム



写真-2. 測定機器概要



写真-3. 測定風景